

北海道・東北ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

北海道開催 どさん子ラウンド 平成27年8月22日(土) 北海道教育大学札幌駅前サテライト

通算で4回目になる「北海道・東北体育・保健体育ネットワーク研究会」が北海道教育大学札幌駅前サテライトにおいて開催しました。

今回は、指導計画の作成のポイントや小、中、高の体育・保健体育指導の充実のポイント、指導上の課題などについて、小学校・中学校・高等学校・大学・行政など様々な立場から共有できる素晴らしい協議をすることができました。



情報提供（説明）

鹿屋体育大学佐藤教授より、学習評価に関する説明をいただきました。

特に、単元構造図の重要性についての説明では、指導内容や学習方法の明確化を図ることができるとともに、評価規準を検討し、指導と評価の一体化を図ることができると、単元構造図が効果的なツールであることがわかりました。

併せて、単元構成図は作成に大変時間がかかるなどの課題があることから、指導内容と評価規準の整合性を図ること、指導したことを評価する場面、学習シートとの関連など、教員の課題意識に応じて重点化を図る方法について説明がありました。

今回の佐藤教授の説明を受け、来年度のどさん子ラウンドは、単元構成図の作成に係るワークショップを実施しようと考えております。

情報提供（説明）

国立教育政策研究所高橋調査官より、今日的の教育課題について説明していただきました。

特にアクティブ・ラーニングなどの現在求められている学習活動の考え方やオリンピック・パラリンピック教育に関する中間まとめの概要や今後の見通しなど、これからの我が国の教育に関する貴重な情報をいただきました。また、短い時間になってしまいましたが、古川前教授からフィンランドで行われた研修について、動画と合わせて情報提供をしていただきました。

実践報告、グループ協議

尾形主査から高等学校の実践発表、瀬越指導主事から北海道の小学校の実践発表のあと、グループに分かれて協議を行いました。

協議では「関心・意欲・態度の評価の難しさ」や「12年間を見通した計画的な指導の在り方」、「ゲーム等を簡易化するときの留意点」など、先生方が普段考えている指導に対する課題の共有化を図るとともに、改善策について協議を行いました。また、最後に佐藤教授から今後の充実に向けたアドバイスをいただきました。

